

(1) 民間提案制度の実施

方向性	本市が保有する資産を有効に活用し、新たな財源確保を図るとともに、事業者にとっても企業価値の向上等につながるよう、ネーミングライツを含めた民間事業者等の創意工夫を生かした提案を募集します。
取り組み	平成30年7月から、枚方市市有資産民間提案制度を開始し、岡東中央公園についてネーミングライツ契約を締結しました。今後も引き続きネーミングライツ契約の締結を推進するとともに、より効果的な市有資産の有効活用を推進します。

9月末の
進捗状況
【○】

8月末に締切ったネーミングライツの募集については、歩道橋や駅前広場花壇等、複数の施設に応募があり、契約締結に向けて手続きを進めています。また、市有地等の有効活用については、元仮称北山社会教育施設用地の貸付について、10月に公募を開始し、11月に条件付一般競争入札を実施する予定です。

(2) 公共施設マネジメントの推進

方向性	今後老朽化が懸念される公共施設について「枚方市公共施設マネジメント推進計画」に基づき、機能の見直しや「更新」「統廃合」「長寿命化」などを計画的に行うことにより財政負担の軽減・平準化を図るとともに、最適な施設配置を実現できるよう、公共施設マネジメントを全庁横断的に推進します。
取り組み	平成30年度に実施した一次評価（定量評価）により二次評価の対象となった施設及び築30年以上となる施設を対象に、二次の定性評価を行います。また、個別施設計画の骨子を作成するとともに、施設評価の結果を踏まえて同計画の策定に向けて取り組みを進めます。
	平成31年度当初予算：682千円

9月末の
進捗状況
【○】

平成30年度に実施した一次評価（定量評価）により二次評価の対象となった施設及び築30年以上となる施設を対象に、二次の定性評価を行い、公表しました。また、令和2年度の個別施設計画（総合編）の策定に向けて、骨子の作成を進めています。

(3) 未収金対策の強化

方向性	<p>市税については、これまで現年度課税分に重点を置いた徴収を行うことにより滞納繰越を防止する取り組みや、債権を中心とした適正な滞納処分の執行等の取り組みにより、平成29年度に徴収率98.6%を達成しました。今後も引き続き徴収率の維持・向上に努めます。</p> <p>税外債権については市債権管理及び回収に関する条例に沿った適正で効率的な事務処理を行い、未収金の縮減に向けて取り組みを進めます。</p>
取り組み	<p>市税の収入確保については、滞納整理にあたって、これまで効果のあった取り組みを充実させ、滞納繰越額をさらに縮減させていきます。</p> <p>税外債権については、平成30年度から参加した大阪府域地方税徴収機構へ引き続き参加することとし、市債権管理及び回収に関する条例に沿った適正で効率的な事務処理を行うため、平成30年度に雇用した弁護士職員を有効に活用し、未収金対策強化の取り組みを進めます。</p> <p>《目標値》 市税の徴収率：98.6%</p>

9月末の 進捗状況 【〇】

市税の収入確保については、滞納整理にあたって、これまで効果のあった取り組みに工夫を加え、滞納繰越額のさらなる縮減に努めています。

大阪府域地方税徴収機構に職員が参加することで、市税等の徴収スキルの向上を図っています。弁護士職員は、債権所管課の支払い督促の指導助言を行い未収金対策の強化を図っています。